2024年度

3,414億円

海外売上高

93.0%

売上高

価値創造の歴史

時代の変化に対応し、 社会の要請に応え続けてきました

太陽誘電は創業以来、主力商品である積層セラミックコンデンサを中心に、インダクタや通信用デバイスなど、 社会の要請に応えて様々な電子部品を世の中に提供し、価値を創造してきました。

テレビ、トランジスタラジオなどの

海外における需要増

~2010_#

OUR STORY

家庭用ゲーム、携帯電話や パソコンなどが普及

IT関連製品の需要が増え 国際分業化が進行

2011_#~

スマートフォンやタブレットが急速に普及、 また自動車の電子化が加速

スマートフォン、タブレットなどの 高機能化と薄型化が進行

> (億円) 4,000

3,000

電子機器の小型化や 軽量化が進展

1980年代

携帯用CDプレーヤー

自動車電話などが登場

1950年代

トランジスタラジオ登場

ラジオやテレビなどの 電子機器の普及

1970年代 1960年代

1970

家庭用ビデオテープレコーダー(VTR)、 オーディオ機器などが普及

省エネ、省電力化

海外売上高比率の推移 2000年度

77.1 %

2010

90.3

2020

1,000

0

創業

1950

太陽誘電の価値提供

1950年9月

チタン酸バリウム磁器コンデンサ 「ルチルコン」を商品化



1954年9月 小型フェライトコア 「フェリットコア」の生産を開始

1964年9月

売上高の推移

1960

生産が拡大

技術研究所を設立

1967年5月

台湾・台北市に 初の当社現地法人を設立



設立当時の台湾太陽誘電

1970年3月

東京証券取引所市場第二部に上場。 1973年に一部に指定替え

1980

1976年7月

アキシャルリード型磁器コンデンサを 世界で初めて商品化



1977年10月

世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発



1990

世界初のニッケル電極大容量積層 セラミックコンデンサを開発

62.0

2000



「3216」「3225」タイプ

1988年9月

世界初の追記型光記録メディア 「CD-R」の商品化を発表



DVD-R, BD-R, CD-R

1999-2000年

海外4生産拠点を 同時立ち上げ



TAIYO YUDEN (SARAWAK)

2001年4月

Bluetooth®フルモジュール、 Bluetooth®規格Ver1.1認証を 世界で初めて取得

2010年3月

太陽誘電モバイルテクノロジー 株式会社を子会社化

2018年4月

エルナー株式会社を子会社化

2018年5月

世界初、静電容量1,000 µ Fの 積層セラミックコンデンサを開発



4532サイズ(4.5mm×3.2mm、1,000μF)

2024年12月

世界初、メタル系パワーインダクタで 薄さ0.33mmを実現



積層メタル系パワーインダクタ 「MCOILTM LSCNシリーズ」 $(1.0 \text{mm} \times 0.5 \text{mm} \times 0.33 \text{mm}, 0.47 \,\mu \text{H})$